

優和のミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

価値とは〇〇〇である

皆さんの周りにある、あらゆるものには全て言葉がついています。当然といえば当然ですが、実はとても重要なことです。

はるか昔、ノートが誕生した前日に誰かが紙を束ねてみたら便利だということに気づいて束ねた紙を「ノート」と呼ぼう。となつて、ノートという価値のあるものが生まれました。

世の中にあるあらゆるもの、例えばノート、パソコン、携帯、スーツなど全て言葉で表すことが出来るものにはそれぞれに価値があります。価値があるのに言葉で表されないものはありません。

ものだけに限りません。人にも「名前」という言葉がついています。

たとえば、駅で偶然に昔の知り合いに会ったとしましょう。けど、名前が思い出せないで「あーどうも。」とか「今ちょっと急いでいるのでまた後で連絡する。」とか言ってその場をしのぐことってありませんか？失礼ですが、その人は皆さんにとって名前を忘れてしまった、ということは「名前」＝「言葉」がない、つまり“価値がない”といえるかも知れません。

しかし坂本龍馬は皆さんご存知です。けど、知ってはいても会ったことはありません。

ではなぜ知っているかという、それは小説とかTVとかで「坂本龍馬」という言葉をたくさん見聞きしているからです。ということは名前を忘れてしまった昔の知り合いは皆さんにとって相対的に“価値がない”人で、つまり、極端に言ってしまうと、すでにお亡くなりになっているはずの坂本龍馬は相対的に生きていて“価値のある”人といえます。

皆さんの所属している会社や、扱っているサービスや商品にも言葉で表すことが出来なければ価値あるものと見られないかもしれません。そして皆さん自身も名前を覚えてもらわなければ価値ある人ではないと思われてしまうかも知れません。

会社のホームページや商品・サービスのパンフレット、名刺等で徹底的に商品・サービス・会社・自分自身を言葉化して価値を伝える必要があります。

言葉で表すことが出来なければ価値があるものとは見てくれないのです。

価値とはことばである。